

国際機関による 平和構築と コミュニティ再生

青山学院高等部 2018年10月3日

山本 和（かのう） 山崎 節子

自己紹介

- 青山学院大学卒業 Occidental College, Los Angeles へ留学
- スイスユニオン銀行東京支店 勤務
- 国際基督教大学大学院行政学研究科修士
- UNDPフィリピン事務所
- UNDPニューヨーク本部財務部
- UNDP北京事務所
- 国連ボランティア計画（UNV）本部 ジュネーブのちボン
- UNDPラオス事務所副代表
- UNDPベトナム事務所所長
- UNDPカンボジア事務所所長
- 京都大学大学院総合生存学館特任教授

OUTLINE

1. 国際連合の目的－平和構築への道
2. 開発：持続可能な開発目標 コミュニティ再生
3. 人権
4. IMFの世界経済への役割
5. Q&A

国際連合の 目的

- 国連の発足（1945年10月24日）
- 国連憲章序文
 - 国際平和：“2度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、”
 - 人権：“基本的人権と人間の尊厳及び価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念を改めて確認し、”
 - 開発：“一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上とを促進すること、”

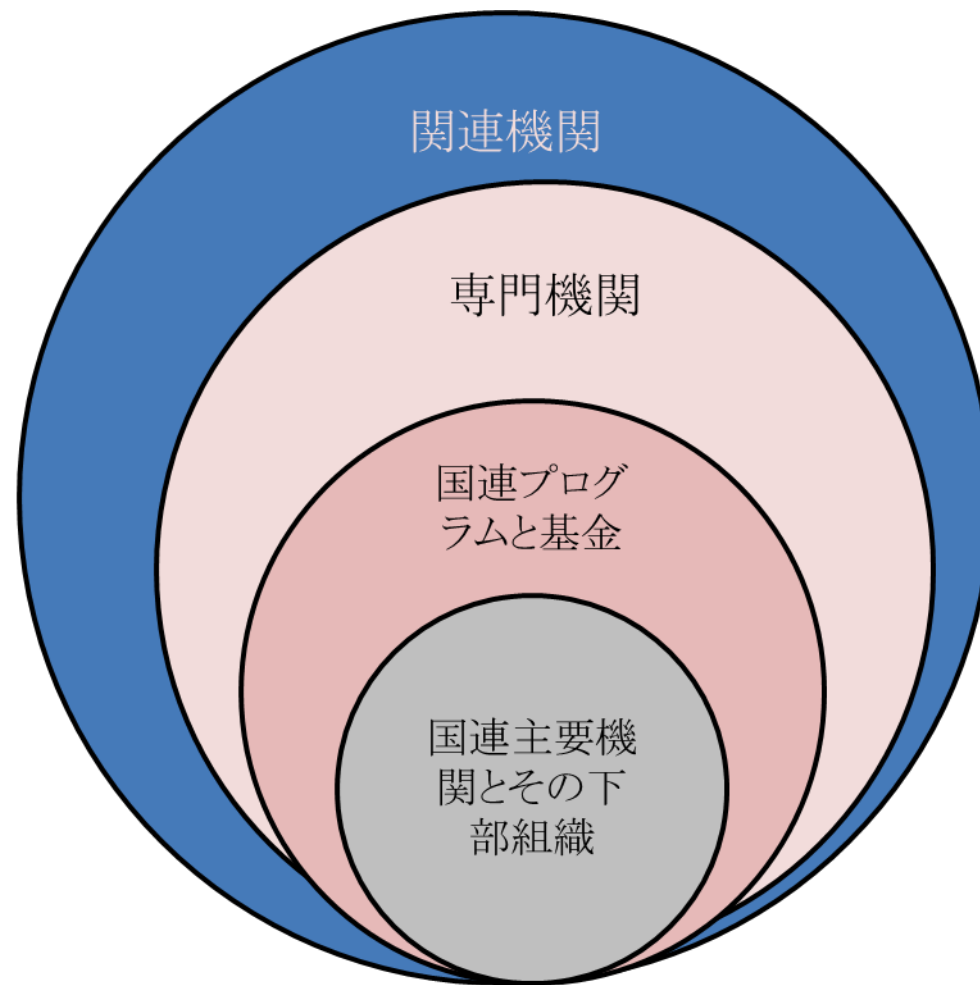
国連事務総長
アントニオ
グテーレス氏



“Our most serious shortcoming is our inability to prevent crises. The United Nations was born from war. Today we must be here for peace.”

—就任演説 2017年1月

国連システム の機関



国連システム

- 国連

- 国連主要機関とその下部機関
- 国連プログラムと基金

(例： UNICEF, UNDP, UNHCR, UNFPA, UNEP)

- 専門機関

(例： UNESCO, WHO, ILO, FAO, World Bank, IMF)

- 関連機関

(例： IAEA, ICC, World Trade Organization)

開発とは

- 人間の生活の質の向上を目的とする変革のプロセス
- 貧困撲滅と人間中心とした発展で、経済成長だけでなく、社会、環境を含む将来の世代へつなげる持続可能な開発

Agenda 2030

Sustainable Development Goals (SDGs)



カンボジアの 開発

- ・ 歴史 :

1953 フランスからの独立

1970－80代 クメールルージュと内戦

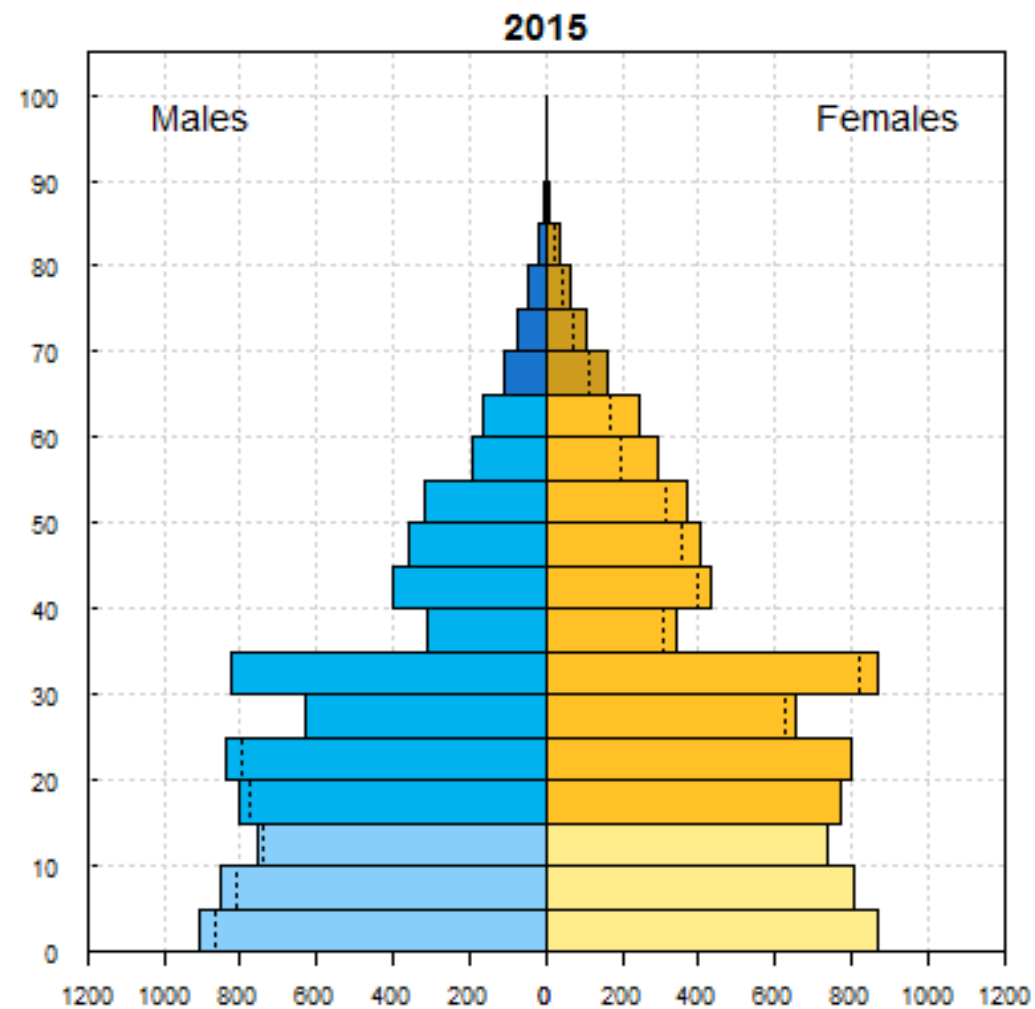
1991 パリ和平協定

1992 国際連合カンボジア連暫定統治機構（UNTAC）

1993 国民議会選挙

独立＞内戦＞平和構築＞更生＞開発＞中所得国の途上国

カンボジアの人口



UNDPの活動

- 中所得国になることにより、資金が無償援助から融資へ変化
- 持続可能な開発を目指して自助努力を政策面から支援
- 産業構造の多角化と付加価値をつける政策援助
- 人口の65%以上が30歳以下の若い国だが、平均学業年数は10年程
- 教育、訓練、雇用など人的資源の投資への必要性
- 農業就業人口が多く、気候変動や異常気象の影響を受けやすい。森林保護や環境法整備への援助
- 過去からの負の遺産、地雷、不発弾の処理等

若者向け テレビ番組 プログラム

スウェーデンとNGOの協力



ラジオライブ 放送

スウェーデン大使と仕事について
のインタビュー



カンボジアの Youth Day

カンボジアの将来を担う若者



国際機関による 平和構築と コミュニティ再生

次は、山本 和さんのUNICEFとIMFでの経験を伺います。